

P T A 発表

発表者 サポーターズ交通安全委員会

学校名 神奈川県立神奈川総合産業高等学校サポーターズ

発表テーマ 「神奈川総合産業高等学校サポーターズの取り組み」

1 はじめに

神奈川県立神奈川総合産業高等学校は、平成17年に開校し今年で18年目の学校です。課程は、全日制と定時制に分かれています。全日制は、総合産業科が設置されています。生徒や教職員、また地域の方々からは、「LiSA高」という呼び方が親しまれています。「LiSA」とは、Liberal Science & Arts Academyの頭文字を取ったものです。

全日制の全校生徒数は694名です。最寄り駅は小田急線の相模大野駅より徒歩約20分です。県内唯一の総合産業科の高校で特色のある教育内容のため、県全域から生徒が通学しています。また、自転車を使用して通学する生徒は半数以上おり、交通安全の取り組みは非常に重要な項目です。

学校のある相模原市南区は、神奈川県の子供・若者に対する交通事故発生ワースト10に入るエリアであり、生徒への安全意識の啓発活動が大変重要であると考えています。

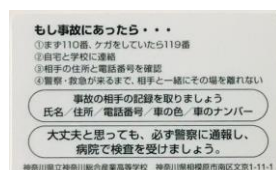
2 サポーターズ交通安全推進委員会について

本校はP T Aのことを、「サポーターズ」と呼称して活動しています。サポーターズ交通安全委員会は、1～3年の保護者14名で構成されています。

以下、主な活動内容を紹介いたします。

◆セーフティーカード配付

本校では新入生の入学時に、自転車保険の加入手続きとともに事故発生時の連絡先を印刷している『セーフティーカード』を配付しています。



◆交通安全デー参加

5月、10月の交通安全デーには、生徒や警察と連携し、正門前と学校側の交差点で声かけ・反射材の配布などを行っています。



◆自転車点検参加

6月の自転車点検では、生徒の校紀委員会と連携し、乗車の基本である、空気圧や鍵、ライトなどのチェックを行っています。



◆スケアードストレイト方式による安全教室参加

1年次を対象としたスケアードストレイト方式の安全教室に参加し、効果的な安全教育方法について皆で検討しています。



◆交通安全アンケート実施

6月に全校生徒を対象に、交通安全意識調査アンケートを実施。交通ルールの理解度から、自転車乗車における通学の状況など、現状を知ることができたこと、またこの結果から見えてきた課題を知ることができました。



※詳細の結果は、以下のリンク先を参照してください。



3 今後の課題および展望について

アンケートの結果より、自分が加入している保険会社を把握している生徒は半数程度でした。そこで、セーフティーカード配付をきっかけに、親子で交通安全と自転車に乗る責任について話し合う機会にするための取り組みを検討しました。

また、スケアードストレイト方式の安全教育は実演で行われるため、生徒へのインパクトが強いですが、アトラクションとして消費されがちな側面もあると考えます。そこで、スケアードストレイト方式の安全教育の効果を高め、維持させる目的で、実施前、実施後、実施二週間後、生徒へのオンラインアンケートを実施し、その効果を検証、考察しました。結果はオンラインアンケートのため十分な回答数が得られず、分析に至るデータ収集ができませんでした。しかし、二週間後に実施したアンケートでは徐々に安全への意識が薄れていく回答も見受けられたため、安全教育をいかに維持し、生徒が常に気を付けて行動を取れるか、手立てを引き続き検討していきます。